

牧草園藝



夏枯れに強い

暖地型牧草の新品種

府県での酪農家の一番の悩みは夏の暑さによる家畜の疲労と食欲不振、加えて酷暑による飼料作物の生育阻害で粗料飼が不足するという二重の苦しみを毎年味わっているわけですが、今回その悩みの一端を解消する新しい耐暑性牧草が登場いたしました。

次の諸点の注意が必要です。

- 1 肥料に対する感応性が強いので多収を得るためには多肥を必要とします。
- 2 草丈は1 m以上はあまり伸びが大きくありませんので、刈取りは草丈80~90cm位になった時地際から10cm程残して刈取ります。(低刈りしますと生長点を刈取ることになり再生力が弱まります。)

(千葉研究農場 森山 武)

雪印改良 シコクビエ (大型晩生種)

シコクビエはわが国に広く自生しているオヒシバ属 (Elusine 属) の一種で、一般のヒエ (Panicum 属) とは形態は似ていますが全く異なるもので次のような数々の優れた特性をもっております。

- 1 耐湿性が比較的強いので水田 (強湿田は向かない) 畑作いずれでもよい。
- 2 比較的低温 (13~15℃) でも発芽するので播幅が広い (ローズグラス他の南方型草種は15℃以上)
- 3 初期の生育が早く多収 (8~10t/10a) であり、1 番刈りの生草収量は他の南方型牧草のうちでは一番多い。
- 4 再生力が強く年間3~4回刈りができ8~10t/10a 収穫が可能。
- 5 葉が軟かく嗜好性がよい。
- 6 直立、伸長型で倒伏しにくいので機械刈りの利用に適している。
- 7 種子がこぼれても雑草化の心配がない。

以上のような優れた点を備えておりますが、

